

支援活動報告



キーンくんが学校で、子どもの保護について友だちと復習しています

チャイルド ストーリー

子どもの保護について家族で学んでいます

小学校4年生のキーンくんには、妹2人と弟1人がいます。責任感があり、学校ではクラスの中心的存在で、クラスリーダーを務めています。

「ワールド・ビジョンのスタッフが、ぼくの村や学校を訪問し、学用品の支援や子どもの保護に関する研修をしてくれました。子どもの保護について学んだので、ぼくはクラスリーダーとして周りの友だちにも教えてあげています。また、地域の大人も子どもの保護について学んだので、子どもの権利を尊重してくれる大人が増え、虐待が減ることを願っています」と話してくれました。

また、キーンくんのお母さんがワールド・ビジョンの活動に参加する理由と子どもの保護について教えてくださいました。「私も夫も学校を卒業していませんが、子どもたちが良い環境で成長できるよう、いろいろと学びながら活動に参加しています。今年は、新しく子どもの保護について学びました。私た

ちが住む地域の多くの人は、長年の習慣に基づいて子育てをしていました。研修を通じ、自分のやっていることが虐待かどうか判断できるようになりました。まだ昔の習慣を続けている人々の行動を変えるのは難しいと思いますが、私も子どもたちと一緒に働きかけていきたいと思っています」



キーンくん家族が子どもの保護について学んでいる様子



教育

物質的支援と環境の整備を行い、 子どもたちが小学校を卒業できるよう支援を行いました

97%の子どもたちが、小学校を卒業できました！

ラオスでは、少数民族の多く住む農村地域での小学校退学率の高さが課題となっています。支援地域も同じ課題を抱えているため、物質的支援と学習環境の整備に集中的に取り組み、多くの子どもたちが初等教育を修了できるよう支援を行いました。

今年度は1～4年生の生徒が通う小学校の改築を支援しました。床もなく壁も隙間だらけだった古い木造校舎は、村の住民や子どもたちが長年望んでいたコンクリート製の校舎になり、1～4年生の子どもたち76人が学習環境の整った教室で学べるようになりました。

学習環境の整備では、読書の啓発活動と子どもたちが尊重され守られることを目指した研修を実施しました。学校の授業はすべてラオス語で行われるため、独自の言語を使う少数民族が多く住む農村地域では低学年のうち

に読解力を身につけることが、とても重要です。子どもたちの学びの質を高めるために、読書室を備えた5校を中心に、読書クラブの活動や読書啓発イベントなどを実施しました。また村落教育委員会のメンバー70人には、教育の重要性や子どもの保護に関する研修と、学校改善に向けた計画を策定する研修を実施しました。郡の教育局やユース・ユニオンとも協力し、1～5年生までの350人に子どもの権利と保護に関する研修を行いました。

これらの活動を行った結果、今年度は97%の子どもたちが小学校を卒業することができました。ラオスでは少数民族の女性の識字率が低い傾向にありますが、支援地域では今年度の小学校修了率に男女差がほとんどありません。長年のご支援を通じ、保護者や子どもたちへのさまざまな働きかけが実を結びつつあります。



子どもの権利についての研修を受けた子どもたち



休み時間に校庭で遊ぶ子どもたち



本の読み聞かせイベントで、ぬりえやおやつを楽しむ3年生



生計向上

水タンクや川ダムの活用、家畜の予防接種などにより、 家族が安定して食料や収入を得られるようになっています

919世帯で1日2回の食事がとれるようになりました！



栄養価の高い食事の作り方の研修で作った食事は、子どもたちがいただきます



新種の稲を植えました。収穫後は、一部を種もみとしてほかの世帯に広げていきます



家庭菜園で野菜が採れるようになりました

各世帯の生計向上を通じ、家族の食生活の改善と子どもたちの栄養改善を目指し、家庭菜園・家畜飼育・稲作などの支援を行いました。

家庭菜園の支援では、乾期でも安定して水を確保できるよう水タンク、ポンプ、パイプなどを提供し、川ダムから菜園に水を引けるようにしました。貧困世帯には栽培技術や有機肥料に関する研修を行い、研修に参加した世帯は野菜栽培をし、家族の栄養改善に役立てています。また、412世帯が川ダムを活用して食用魚を獲れるようになりました。

家畜支援では、ヤギの飼育を拡大しています。今年度は新たに25世帯が飼育研修を受け、計195世帯がこの活動に参加しています。殖やした子ヤギの販売で20世帯が安定した収入を得られるようになり、食料を買った

り、子どもたちを学校に通わせられるようになったりしています。パランサイ地域では、854世帯が家畜（ヤギ、豚、ニワトリ等）を飼育しています。また、タパントン地域では獣医や貧困世帯など14人に家畜の飼育方法や病気への対処について研修を行い、40世帯が鶏の飼育と魚の養殖を新たに始めました。今後、多くの子どもたちの栄養改善と健やかな成長につながることを期待されています。

稲作支援では、20世帯に新種の稲を提供し、技術研修を行いました。収穫の状況を確認し、今後は5つの村でも展開していく予定です。

これら3つの活動を行った結果、今年度は919世帯で1日に2回の食事がとれるようになり、子どもたちの栄養状態が改善されました。

新型コロナウイルス感染対策について

地域一丸となって、COVID-19の予防に取り組んでいます！

支援地域の医療体制は十分とは言えないため、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の水際対策が求められています。ワールド・ビジョンは薬局スタッフや地域保健ボランティアと一緒に、COVID-19の予防のために活動しています。ポスターを使った啓発、手洗いの実演、石けんを使った研修、カウンセリングなどを通じて、26の村で913人を対象に、COVID-19の症状と予防方法についての研修を行いました。

地域保健ボランティアのケオさん（白い帽子）も、子どもたちに手洗いの方法を教え、COVID-19から子どもたちを守る活動をしています。



タパントン郡の事業責任者
ソムサヌック・シサマド

現地責任者からのご挨拶

チャイルド・スポンサーシップ・プログラムが実施できなくなった今も、最も弱い立場に置かれている子どもたちのためのご支援に心から感謝いたします。

今年最大の成果は、子どもたちの栄養状態の改善です。5歳未満の子どもを持つ農家を対象に家畜の飼育、有機肥料の生産や家庭菜園の栽培に関する研修を行いました。その結果、1日に少なくとも2食はとれるようになった家庭が増加し、子どもたちの栄養状態を改善することができました。

しかし、地域にはまだ弱い立場に置かれている子どもたちが少なくありません。そうした子どもたちへの取り組みとともに、今後、地域住民が主体となって課題に取り組むために、政府や自治体と密接に連携し、良好な関係を築くことを目標に活動していきます。あらためて、温かいご支援をありがとうございます。

2019年度(2018年10月1日～2019年9月30日)の会計報告

ラオス サバナケット県タパントン郡・パラサイ郡での活動への支援額：24,415,152円
温かいご支援に心より感謝申し上げます。

ワールド・ビジョンは、キリスト教精神に基づいて開発援助・緊急人道支援・アドボカシー（市民社会や政府への働きかけ）を行う国際NGOです

【お問合せ先】

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

☎ 電話：03-5334-5351（平日9:30～15:00）

✉ e-mail：dservice@worldvision.or.jp

H P：www.worldvision.jp

World Vision